

1ねん学年だよ!

平成30年10月31日(水) 第30号



緩んだネジを締め直せ!

この学年だよりが配布される頃、後期生徒会の役員選挙が終わっているのだと思います。今回から、1年生も生徒会メンバーに入ることになります。しかも今回は、会長1名・副会長1名の他の「役員」(定数4名)に6名が立候補しました(1年生は5名)。候補者が定数よりも多いので、演説のみで当選ではなく、正真正銘の「選挙」となりました。そのため、残念ながら落選する人も出てしまうのですが、そのことを話しても、5名の候補者の意志は少しも揺らぎませんでした。5人の意志は「集団のために自ら進んで“仕事”をしよう」と考える人の多い61期生を象徴するようで、先生たちは誇りに思います。いよいよ1年生の学校生活も“後半戦”。後期の学級委員・教科係はこれから決めますが、いずれにせよ、どの人も新しい生活のスタートを感じさせる、キラキラ輝いた目をしているのが印象的で、先生たちも、改めて気持ちを引き締めているところです。今回は“後半戦”を迎えるにあたり、みんなに気をつけてほしいことを伝えたいと思います。



自動車や電車、また、いろんな工場で使われているロボットや、テーマパークの乗り物などは、長い間使っていると、次第にネジが緩んで、不具合が生じてきます。そのため、定期的に点検をすることが必要であり、それを怠ると、大きな事故につながります。これと同じことが、私たち人間についてもいえます。それが《慣れる》ということです。「慣れる」には2通りの面があります。ひとつは、「馴染む」に近い意味で、人と人が慣れ親しんだり、あることに習熟したりするというプラスの面です。もうひとつは、「馴れ合う」に近い意味で、細かい部分にこだわらなくなり、適当に生活を送ってしまうといったマイナス面です。

61期生の様子を見ていても、たとえば、先生と目が合うだけで服装を正したり、私語をやめたりするなど、《慣れる》のプラス面が多く見られる一方、学校生活の細かい部分がおろそかになっているようです。登校時間が遅くなっていたり、教室移動がダラダラしていたり、号令をかけても私語をしていたり、服装がルーズになっていたりと、《慣れる》のマイナス面も見られるようになっています。機械のネジを締め直すように、学校生活に見られる“緩み”を締め直さないと、一部の人が自分が自分勝手に振る舞う61期生、安心して学校生活を送れない61期生になってしまいます。後半戦に入る前に、自分で自分の“ネジ”を締め直す必要があります。





掃除でパワーを呼び込むために



月に一度、「清掃点検」があります。整美委員が各クラスの教室掃除の状態を点検するというものです。「清掃点検」では、5つの項目(①教室の床・②黒板・③机・④ゴミ箱と掃除用具入れ・⑤教室前の廊下)についてそれぞれ5点満点で点数をつけて、教室の美しさを競います。先日、前期整美委員にとっては最後となる清掃点検があり、5クラスのうち、3クラスが同点で1位になりました。1位ではなかったものの、残りの2クラスも、教室掃除はきちんと行き届いており、清掃活動に対する意識の高さがうかがえました。表彰状まではありませんが、それぐらい美しい清掃が、整美委員の点検がない日にも実行できるようになったら“本物”です。



たとえば、最初からトイレのスリッパが散らかっていたら、トイレから出る人はスリッパを揃えようとしません。反対に、キレイに掃除が行き届いているトイレで、スリッパも揃っていれば、トイレから出る人はスリッパを揃えて出ます。それと同じように、あちこちにゴミが落ちてあるような場所にゴミを落としたら、「別にいいかな」と思って拾おうとしないのに、キレイな場所にゴミを落としたら、申し訳なくなって、落としたゴミを拾ってゴミ箱に捨てます。こういう話をすると、なんだか人間の心の醜さを見るようで複雑な気持ちになりますが、つまり、キレイな場所はずっとキレイな状態が続き、汚れた場所はどんどん汚れていくということになります。



《掃除》という行為には“能力”があるようです。どんなものかというと、【場所を清める能力】・【人間の心をキレイにする(落ち着かせる)能力】・【その場所に運気を呼び込む能力】などです。きちんと掃除をせずに汚れた教室で過ごす、それだけでケンカの発生する確率が上がります。なぜなら、汚れた教室にすることで、私たちは“無意識のレベルで”イライラしてくるからです。嘘だと思ふなら、放課後でいいので、一度徹底的に黒板をキレイに消してみるとよいでしょう。1度、2度、3度と、何回も黒板を消していると、心が落ち着いてくるのがわかります。教室をキレイにして、クラスを、学年を、学校を、《プラスのパワー》でいっぱいにしましょう!!!

保護者のみなさまへ



先週の土曜授業参観に際しましては、たくさんの方々がご来校してくださいました。心よりお礼を申し上げます。また、授業後におこなわれた学年保護者集会でも、教室の座席がなくなりそうなほどの方にご出席いただきました。本当にありがとうございました。学年保護者集会にもいろいろありますが、たとえば「宿泊行事の説明」や「進路説明会」のようなときは出席して下さる方が増える傾向にあるのですが、そうでもないときの保護者集会にこれほど多数の方にご参加いただけるのは、本当にうれしい限りです。学年の活動へのみなさまの関心の強さを感じて、大変心強く思うのと同時に、責任の重さに身の引き締まる思いを抱いております。今後とも、学校ならびに学年の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。